

手順書: 栄養に係るカテーテル管理(中心静脈カテーテル管理)関連

17. 中心静脈カテーテルの抜去(1)(2)

【特定行為の概要】

医師の指示の下、手順書により、身体所見(発熱の有無、食事摂取量等)及び検査結果等が医師から指示された病状の範囲にあることを確認し、中心静脈に挿入されているカテーテルを引き抜き、止血するとともに、全長が抜去されていることを確認する。抜去後は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う。縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う

【当該手順書に係る特定行為の対象となる患者】

- ☐ 中心静脈栄養が不要になった患者
- ☐ 中心静脈からの輸液、投薬が不要になった患者



【看護師に診療の補助を行わせる患者の病状の範囲】

- ☐ 意識状態、バイタルサインに異常がない
- ☐ 出血傾向がない
- ☐ 中心静脈カテーテル挿入創に感染がない

病状の
範囲外

不安定
緊急性あり



担当医師に直接連絡

病状の
範囲内



安定
緊急性なし

【診療の補助の内容】

- ☐ 中心静脈カテーテルの抜去
 - ・トレンデンプルク位(頭低位)にする
 - ・カテーテル挿入部を消毒する
 - ・縫合糸で固定されている場合は抜糸を行う
 - ・中心静脈に挿入されているカテーテルを呼吸時に引き抜き、ガーゼで圧迫止血するとともに、全長が抜去されたことを確認する
 - ・抜去後は、縫合、結紮閉鎖又は閉塞性ドレッシング剤の貼付を行う



【特定行為を行うときに確認すべき事項】

- ☐ 意識状態の変化
- ☐ バイタルサインの変化
- ☐ 出血の有無
- ☐ 中心静脈カテーテル挿入創の感染
- ☐ 抜去後: 抜去したカテーテルの先端部の断裂

<確認事項>

異常・緊急性あり



担当医師に直接連絡

【医療の安全を確保するために医師又は歯科医師との連絡が必要となった場合の連絡体制】

- ☐ 担当医師に直接連絡する



【特定行為を行った後の医師又は歯科医師に対する報告の方法】

- ☐ 担当医師に直接連絡する
- ☐ 特定行為の実施を診療録に記載する